

令和6年度あしたのまち・くらしづくり活動賞 主催者賞受賞

住民主体のまちづくり「津山城西」

岡山県津山市 城西まちづくり協議会

はじめに

津山市城西地区の住民自治組織「城西まちづくり協議会」は、子どもから高齢者まで住み慣れた地域でよりよい生活を送るための地域福祉活動や、重伝建地区の寺社やまち並み、空き家を活用し、加えて災害や犯罪にも強いまちづくり活動を行っている。地域活性を願う「城西若僧会」「城西人力車隊」も結成し、資金的に自立した地域活動を続けていくため、まちの駅2館を運営しながら、住民主体で見守り支え合える地域づくりを進めている。

活動内容

津山市城西地区は、津山城西部に位置し、

町人町と寺の並ぶ寺町とが共存した古い城下町のまち並みが残る歴史ある地区である。令和2年には国より重要伝統的建造物群保存地区に選定され、建物の修理・修景が始まり、市内外から観光に訪れる方が増えてきている。15町内会で構成され、約1600世帯人口約4000人が暮らすまちである。出生数は年々減る一方、高齢化率は36%を超え、少子高齢化と空き家増加により、城西地区のメイン通りである旧出雲街道は人通りが減り、まちに活気や賑わいが薄れていく懸念がある。住み慣れた地域に暮らし続けていくため、こうした地域課題解決に取り組む団体として、平成23年に住民自治組織「城西まちづくり協議会」が立ち上がり、地域課題解決の柱として「福祉部会」「防災防犯部会」「まち

づくり部会」の3部会を作り、連合町内会や地域福祉団体（愛育委員・民生委員・老人会・青壮年）や消防団を中心メンバーに、行政や



未就園児親子の子育てサロン



教育施設、福祉施設と連携を図りながら年間通して活動している。



まちばの寺子屋



三世交代流事業

●福祉部会の活動

福祉部会では、子どもからお年寄りまで住み慣れた地域でよりよい生活が営めるよう地域福祉活動を行っている。具体的には未就園児親子が集う子育てサロン「さくらんぼ」（毎週火曜日）、小学生対象の学習支援と体験活動「まちばの寺子屋」（毎週土曜日）、子ども食堂「寺子屋ランチ」（第2・4土曜日）、「高齢者見守り110番」（随時）、生活支援事業「おたすけ隊」（随時）、城西見守り台帳作成と活用（随時）、三世交代流城西公園整備（年3回）と三世交代流行事（昔遊びや伝承遊び）（年1回）などである。

●防災防犯部会の活動

防災防犯部会では、平成10年10月に大きな水害を経験し、また「災害はいつ起こることも分からない」「自分たちの地域は自分たちで守ろう」との強い防災意識の下、地区防災訓練や防災マップ作成、城西地区防災計画作成と見直し、また防犯研修などを行っている。

●まちづくり部会の活動

まちづくり部会では年間通して城西地区の寺社や空き家を活用した取り組み、まち並みを活かしながら地域活性と観光振興を目指したまちづくり活動を行っている。具体的には、城西観光マップを作製や土産物開発、観光ポ



城西地区防災訓練

ランテアガイド養成、レンタサイクル事業、まちあるきツアー企画などである。地域活性を願い、宵祭り（夏季）や雛めぐり（3月）、コンサート（不定期）、津山民芸協会とタイアップしたワークショップ、朝市（年3回）なども実施している。

令和3年には、宗派の枠を超え、城西地区の寺院の若い住職たちが「城西若僧会（じゃくそうかい）」を結成し、ガイド役となり、城西のいくつかの寺社をめぐりながらいろいろな体験（抹茶・写経写仏・座禅瞑想）をする「先達といく おかげめぐりツアー」を始めている。マスコミや雑誌に取り上げられ、またインバウンドも増え、年々参加者が増えている人気のツアーとなっている。



先達と行くおかげめぐり

●津山城西まるごと博物館フェア

年に一度の城西地区の最大のイベント「津山城西まるごと博物館フェア」では、かつて手仕事のまちとして栄えた城西地区の賑わいを感じさせるクラフト市や模擬店、ステージイベントなどに市内外から大勢来場いただいている。その会場内でもひとときわ目立ち、花形イベントとなっているのが、イベントのメイン通りを通る人力車である。毎年、このイベント用に去年までは人力車をレンタルしていたが、今後の城西地区の観光の起爆剤となつてほしいとの思いで、昨年クラウドファンディングにより資金を集め、城西地区自前の人力車を購入した。2年前より30代・40代

の城西地区青壮年が「城西人力車隊」を結成し、人力車引きの専門家に引き方を習い練習も重ねてきた。

「城西若僧会」や「城西人力車隊」といった若い世代のまちづくりへの参画は、高齢化の進む城西地区にとっては地域活性化の希望の光であり、高齢者にとっても元気をもらえ、住民力や地域力を高める大きなモチベーションとなっている。また、コミュニティスクールの事業と連携し、この地に住む子どもたちにとっても、自分たちの住む地域に関心を持ち、愛着や誇りをもつきっかけにもなっている。

自立した地域活動を続けていく

「ひとづくりはまちづくり」を合言葉に、地域住民主体で、住民同士が見守り支え合いながら、日々地域づくりを進めている。資金面での自立した地域活動を続けていくための拠点施設として、平成31年4月に「まちの駅 州民芸館」を、令和2年4月からは「まちの駅 城西浪漫館」の運営を行い、2館のまちの駅運営を通して「稼ぐ地域づくり」を進めている。今年度は特にこの2館のまちの駅が「森の芸術祭 晴れの国・岡山（9月28日～11月24日）」の作品設置会場になっており、市内外から多くの関係人口が増え、城西地区の良さをPRできる絶好の機会と考え、住民一丸と



城西まるごと博物館フェア



まちの駅運営（カフェ）

なりなお一層の地域づくりへのモチベーションを高めている。

（城西まちづくり協議会 事務局 牧原裕子）